

令和元年12月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	15	寺口友彦	9日 (月)
2	18	黒滝松男	
3	5	中沢道夫	
4	9	桑原圭美	
5	3	目黒哲也	
6	10	塩川裕紀	
7	22	阿部久夫	10日 (火)
8	1	大平剛	
9	14	佐藤剛	
10	20	塩谷寿雄	
11	16	中沢一博	
12	7	勝又貞夫	
13	8	永井拓三	11日 (水)
14	2	梅沢道男	
15	4	吉田光利	
16	13	岡村雅夫	
17	11	清塚武敏	
18	6	田中せつ子	
計		18名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質 問 内 容
2	1 3年間の林市政と今後の課題について
議席	林市長は、2016年11月、49歳で16,665票を獲得し、見事に初当選された。
18	「若者が帰ってこられる、住み続けられる、南魚沼に」を掲げ、3年間市民のため、市政発展のために努めてきたことに敬意を申し上げます。そこで以下について伺う。
黒 滝 松 男	<p>(1) 3年前の選挙公約は、「トップセールスマンになり、企業誘致と産業振興に取り組む」、「南魚沼ブランドを強力に発信し、ふるさと納税返礼品制度に取り組む」、「水道料金の値下げ」、「生活環境を守るため井戸規制緩和等に取り組む」、「行財政改革に取り組む」等であった。これらについての総括を伺う。</p> <p>(2) 今後の課題について</p> <p>①新ごみ処理施設建設はどうするのか。 ②地域医療対策等はどうするのか。 ③防災・減災はどう進めるのか。</p>
(一問一答方式)	<p>2 来年11月の市長選挙について</p> <p>就任後3年が経過した。課題が山積する我が市の将来を見据え、今までの国及び県等の人脈を最大限生かし、更なる発展のため2期目の挑戦を、と考えるが、市長の所見を伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
3	1 子ども・子育て支援について、市長の見解を伺う
議席	
5	<p>これまで日本共産党議員団は、子ども医療費助成の拡充、学校給食費の無償化、保育園の副食費の無償化、国民健康保険税の均等割の廃止について提案を行ってきた。これらの提案に対し、前向きな回答を得てはいないが、今後、市長はどのような子ども・子育て支援を行っていく意向なのか、見解を伺う。</p>
中 沢 道 夫 (複合型一問一答方式)	<p>2 加齢性難聴者への公的補助制度の創設について伺う</p> <p>(1) 高齢化が進む中で、補聴器への公的助成は強い要望となっている。国に対し、加齢性難聴者に対する補聴器の適切な普及の仕組みを早急につくることとあわせ、補聴器購入に対する補助制度を創設するよう本市として要望するべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 南魚沼市としても、加齢性難聴を早期に発見するための対策や、加齢性難聴者の補聴器購入に対する独自の助成制度の創設を行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
7	稲作の振興について
議席	
22	
阿 部 久 夫 (一 問 一 答 方 式)	<p>今年の春は、時代が平成から令和に変わり、稲作においても2年続いた不作から豊作になるように願いながら作付けを始めた。</p> <p>8月の出穂を迎えるまでの予想は、3年ぶりの豊作だと喜んでいましたが、お盆にかけての台風10号によるフェーン現象によって40度近い高温に見舞われ、状況が大きく変わった。収穫された米の1等米比率が25%と想定外の数字となり、農家や農業関係者に大きな衝撃を与えた。</p> <p>平成29年に日本穀物検定協会の食味ランキングにおいて「特A」から外れたが、農業関係者の努力により、翌年「特A」に復帰しただけに、今年度の1等米比率は残念な結果になってしまった。</p> <p>以前は、食味ランキングの「特A」と1等米比率の95%は大前提で、作況指数のみを心配していれば良いという意識が多くあったのではないかと。今年度も作況指数こそ100であったが、今後は収量のほか、食味、1等米比率等を考慮しながら作付けを行う必要がある。</p> <p>この状況を受けて市長に4点について伺う。</p> <p>(1) 南魚沼産米は、日本一のブランド米と言われてきたが、今後の見通しについて所見を伺う。</p> <p>(2) 地球温暖化により、今後も高温障害が懸念される中、コシヒカリの食味向上にどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(3) 1等米比率の低下により、農業所得が大きく低下したことを受け、令和2年には農業所得の向上を図ることが喫緊の課題だと思うが、取り組みについて伺う。</p> <p>(4) TPP、EPAといった海外との貿易関係など大きな課題が山積している中で、どのような方向性をもって米販売に取り組んでいくのか伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
8	<p style="text-align: center;">南魚沼市役所の電子化について</p> <p>(1) 業務のペーパーレス化について、現状と今後の方針は。</p> <p>(2) 市のウェブサイトにおける情報公開と電子申請について、現状と今後の方針は。</p>
議席	
1	
大 平 剛	
	(一問一答方式)

質問 順位	質 問 内 容
10	1 台風19号を受け、反省点、改善点はあるか
議席	(1) 被害状況の把握と危険箇所に関する情報発信が適切だったか。
20	(2) 避難場所は適切か。
	(3) FM雪国との連携は。
塩	(4) 避難勧告が26行政区に発令されたが、障がい者、高齢者の把握は出来ていたか。
谷	(5) 防災ラジオを購入したい市民に、期間を限定し、補助をしてはどうか。
寿	(6) 他自治体との災害協定などの現状と今後の見通しは。
雄	2 南魚沼市の教育について伺う
	南雲教育長が今月をもって勇退されるにあたり、南魚沼市の教育で今まで特に力を入れてきたこととその評価は。
	また、新教育長に期待することは。

(一問一答方式)

質問 順位	質 問 内 容
1 2	1 南魚沼市の小・中学校の学力について
議 席	我が市において、学力向上についてどのような努力を重ねてきたか。その結果として、具体的にどのような成果があったと評価しているか。
7	
勝 又 貞 夫	<p>2 図書館について</p> <p>我が市に大型図書館ができて5年が経過した。市民の利用も多く、大変喜ばれているものと思う。</p> <p>(1) 5年を経て、気付いた問題点は何か。</p> <p>(2) 今後、どのように改善していく予定か。</p> <p>3 公共施設の樹木の管理について</p> <p>我が市の市民憲章に、「自然を大切にします」と明記されている。南魚沼市の美しい自然を次の世代に引き継ぐことは私達の責務でもあると思う。当市の自然に対する意識はどうか。公共施設周辺の樹木などに対する市の管理は適切か。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
15	1 同一労働同一賃金について
議席	
4	
吉 田 光 利 (複合型 一問一 答方式)	<p>同一労働同一賃金は、大企業では2020年4月から、中小企業では2021年4月から導入される。これにより正規雇用と非正規雇用での基本給、退職金、賞与などあらゆる待遇について、不合理な待遇差を設けることが禁止される。非正規雇用者にとっては収入増が見込まれる一方、経営者にとっては大変大きな負担が予想され、雇用確保、経済の停滞が懸念される。また、地方公務員についても非正規雇用での給与体系の見直しの条例制定が予測されている。そこで、市長の所見を以下に伺う。</p> <p>(1) 同一労働同一賃金の施行による南魚沼市全体の経済及び雇用形態への影響はどうか。</p> <p>(2) 地方公務員の非正規雇用者の待遇見直しでの財政面、人員体制への影響を想定し、対応策はとられているのか。</p>
	<p>2 公共施設の緑化対策について</p> <p>南魚沼市緑地保全条例において、「市長は、良好な環境を確保するため公園、広場、学校、保育所、道路その他の公共用地の緑化に努めるとともに、市の緑化の推進に必要な施策を行うものとする。」と示されているが、現状の維持管理の実態を踏まえて、以下に伺う。</p> <p>(1) 公共施設建設に伴う緑化の方針と具体的施策はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 市の公共施設にある樹木の維持管理体制は有効に機能しているのか。</p>

質問 順位	質問 内 容
16	<p>1 新ごみ処理施設建設について</p>
議席	
13	<p>11月15日、市長に「国際大学用地内のごみ焼却場建設反対についての要望」が手渡された。昨年6月21日に請願がなされて1年半が経とうとしているが、願いは実現に至っていない。地域のゆるぎない決意を示し、ほかに用地の選定を始めるよう強く求め、12月20日までに書面での回答を求めている。</p>
岡 村 雅 夫	<p>(1) 今日の事態に至った経緯・経過を添えて回答すべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>(2) 当初計画からずれ込んでいるが、今後のスケジュールを伺う。</p> <p>(3) 私たちは、10月26日に「ごみ問題学習会」を開催した。参加者からは好評で、講師の岩佐恵美さんから示唆を与えられ、2市1町の現状の指摘を受けた。</p> <p>① 1日1人当たりのごみ排出量が多く、直接搬入が多いとのことだが、所見を伺う。</p> <p>② リサイクル率をはるかに低いとのことだが、所見を伺う。</p> <p>③ 事業系ごみの割合が高い。「事業者自ら処理」責任の徹底で、受入れ制限すべきとのことだが、所見を伺う。</p> <p>④ 焼却施設の規模縮小で、環境負荷・健康被害を最小限に抑えるべきとのことだが、所見を伺う。</p> <p>⑤ 施設建設・維持管理費等の財政負担軽減で、住民福祉・教育・生活支援の拡充を図れるとのことだが、所見を伺う。</p> <p>2 厚生労働省の公立・公的病院の再編統合の公表について</p>
(複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>厚生労働省は9月26日、公立・公的病院の再編・統合の議論が必要と判断した424の病院名を公表した。その中に、市立ゆきぐに大和病院が入っている。我が地域ではすでに、魚沼基幹病院建設で、地域全体でひとつの病院ということで、医療再編が行われている。</p> <p>(1) 市はどう受け止め、どう対応していこうとしているのか、所見を伺う。</p> <p>(2) 地域で完結できる医療・介護サービスが必要と考える。魚沼圏域地域医療構想調整会議の、圏域外への患者流出についての報告がある。魚沼圏域内での慢性期患者完結率は53%で、新潟県内で最も低い。現状認識と今後の対策について伺う。</p> <p>(3) 医師・看護師・介護職員等のスタッフ不足が原因と考えるが方策を伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
18	1 ふるさとを誇りに思う教育の推進について
議席	
6	
田 中 せ つ 子	<p>「若者が帰ってこられる、住み続けられる、南魚沼に」を実現するには、南魚沼市後期教育基本計画（笑顔あふれる教育プランⅡ）の中の学校教育・幼児教育推進が基礎となる。市の将来を担う子ども達を守り、心身ともに健やかに育成することは社会全体で取り組むべき重要課題と考える。</p> <p>(1) SNSを通じた犯罪被害や、ゲーム障がいによる健康、学業への支障も懸念される。学校の対応と家庭への注意喚起はどのようにしているか。</p> <p>(2) 食物アレルギーのある小・中学生への対応手引きの運用状況と今後の課題は。</p> <p>(3) 第2次南魚沼市総合計画での不登校発生率の減少目標は平成31年度で小学校0.3%以下、中学校2.5%以下となっている。実績と分析は。</p> <p>(4) 来年度、子ども・若者育成支援センターが旧塩沢保育園へ移転するメリットと利用増のための広報は。</p> <p>(5) 平成30年度の県内公立学校教職員の長期病欠・休職者が増加したが、当市での実態と対策はどうか。</p> <p>(6) 県教育委員会は県内教職員の不祥事再発防止に緊急校長会を実施したが、当市の取り組みは。</p>
(一問一答方式)	<p>2 学校の働き方改革と長時間労働是正について</p> <p>少子化による学校の統廃合やクラス数減少により教員数も減少し、教職員の長時間労働は深刻な問題になっている。教職員の応募倍率も低下している。教員が本来の業務に専念できるよう、早急な支援強化が望まれる。</p> <p>(1) スクールサポートスタッフを市の予算で増員する考えはあるか。</p> <p>(2) 給食費等の学校徴収金の督促は市でまとめて行うべきではないか。</p> <p>(3) 地域と連携した体験教育の窓口は、現在、個々の学校が行っているが、窓口を教育委員会に一本化して、学校の負担を軽減する考えはあるか。</p>